

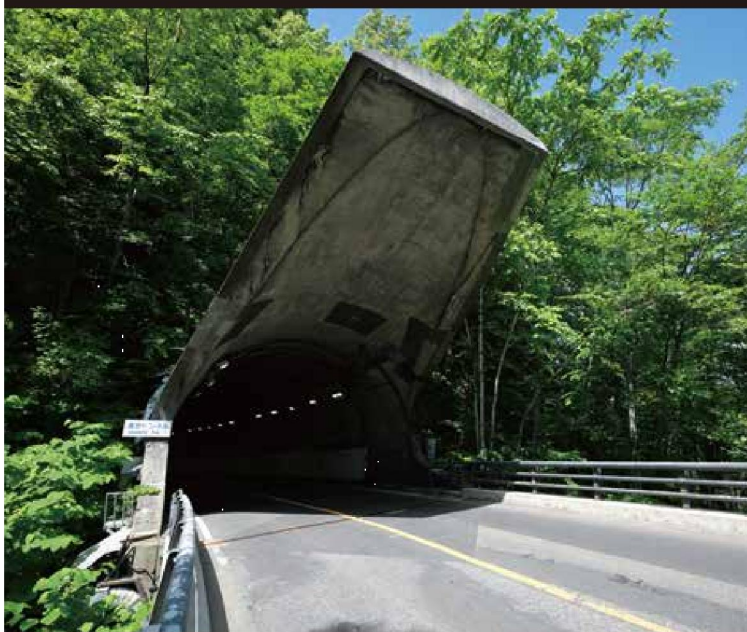
薄

別トンネル（ワニの口）

雪対策から生まれた独特の坑口デザイン

Usubetsu Tunnel 1969

薄別トンネルの中山峠側坑口は、その特徴的な形状から「ワニの口」と呼ばれている。急斜面の直下に位置するため、落雪や雪庇の発生を防ぐ工夫として、屋根を大きく跳ね上げた形状に設計された。さらに、出口の先に続く曲線橋への見通しを確保するため、坑口は大きく開いた構造となっている。機能性と景観性が一体となった、印象的な土木構造物である。



【建設年代・変遷】

●1969年(昭和44年)

【建造物の特徴】

●規模:全長174.9m ●構造:山岳トンネル

冬季の安全な通行を可能にした雪対策 Usubetsu Tunnel 1969



曲線橋への見通しを確保した大きな坑口

